

6/11  
五郎

# 医療・介護つぶさせぬ

## 全日本民医連 減収支援へ国会要請

全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）は10日、新型コロナウイルスの影響で国民の命と健康を守る医療・介護施設が経営悪化に直面しているとして、減収となつた分を国が支援するよう求め、国会要請に取り組みました。参加した16

人は各国会議員を訪ね、現場の苦境を伝えました。

木原望事務局次長は、民医連加盟の全国の医療法人を対象に実施した調査で、このまま有効な財政支援がないと説明しました。

木原望事務局次長は、民医連加盟の全国の医療法人を対象に実施した調査で、このまま有効な財政支援がないと説明しました。

木原望事務局次長は、民医連加盟の全国の医療法人を対象に実施した調査で、このまま有効な財政支援がないと説明しました。

木原望事務局次長は、民医連加盟の全国の医療法人を対象に実施した調査で、このまま有効な財政支援がないと説明しました。

木原望事務局次長は、民医連加盟の全国の医療法人を対象に実施した調査で、このまま有効な財政支援がないと説明しました。

ようとしている」と語りました。

介護現場の実情について林泰則事務局次長は、事業所の経営悪化が進むと同時に、感染回避の自主「休業」行動に先立って、外出自粛や感染の不安から医療機関への受診と介護保険サービスの利用控えが利用者の症状悪化、体力低下、認知症進行などを招いなければ今年度内に資金が尽きるとの回答が多く、返済見通しのない借金をし、将来展望を失う選択を強いられました。

日本共産党的倉林明子副委員長・参院議員、立憲民主党の岡本

が駆けつけ、要請署名を受け取りました。

倉林氏は、安倍政権が第2次補正予算案で、医療機関が融資を受けるまでのつなぎの対策しか盛り込まなかつたことに對し、「つぶれると言っているのと同じ」と批判。「つぶされてなるものか。醫療・介護の提供体制を守る責任は國にある。ぶれずに団結し、頑張り抜きたい」と述べました。

也参院議員（無所属）